

## 文部大臣奨励賞

「ものおきたんけんレポート」

東京都目黒星美学園小学校

二年 加藤 明子



▲明子さんの家の物置部屋にはいろいろおもしろいものが入っているようなので、おばあちゃんといっしょに物置を探検することにしました。物置部屋には「高げた」「はいちよう」「はたおきき」など、めずらしいものがたくさんありました。

このレポートでは、発見したものを、実際に使ってみた感想や、それらの歴史的背景、ものと家族とのつながりなどをまじえて紹介され、「ものおきたんけん」の楽しさがよく伝わってくるものになっています。特に誰もその正体を知らない「なぞの物体」については、資料館まで行って調べ、何に使われたものなのかを見事に推理しています。さらに、資料館での新しい発見についてもレポートされており、明子さんの探求心の広がりが見え、素晴らしい作品です。

## ★総評★

今年は、身近なものをテーマとして取り上げている作品が多く、調査・研究を楽しんでいる様子がたいへんよく伝わってきました。

また、家族や地域の人々と積極的に交流をもつことによって、研究活動に幅が出ている作品も多く見られました。

これは、生活の中から出た疑問を、自分の目で見て、体験・調査し、わからないことを知りたいという探求心を素直にもって行動している結果だと思えます。

## ★自由研究のポイント★

●テーマ選び 生活の中でふと疑問に思ったこと、自分の好きなもの、授業で興味をもったことなど、身近な物事からテーマを選び、楽しく研究に取り組むことが大切です。

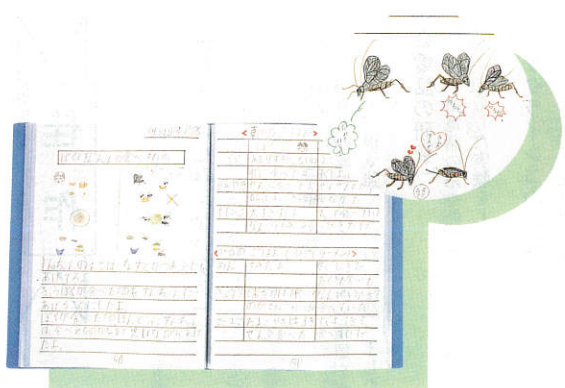
●まとめ方 自分なりの方法で観察・体験・調査し、その結果から得られた独自の考察をしっかりとめることがいちばん大切です。本の丸写し、実験の結果をまとめるだけで終わらないようにしましょう。

## 全国小学校生活科教育研究協議会 会長賞

「ばくのともしちすんちゃんパート2」

岐阜県岐阜市立立加納小学校

二年 早瀬 貴文



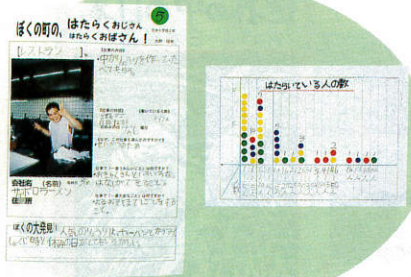
▲スズムシの「すんちゃん」を二年間観察し続け、生命の連続を見事にまとめた作品です。観察・スケッチも特徴をとらえていて、いかに書かれています。中でも自分と「すんちゃん」とのちがいを「食べ物の好き嫌い」「二日の行動の様子」など、項目別にまとめたり、「ゴムのおもちやとすんちゃんのジャンプ力比べ」など独自の視点から実験・観察したりして、それらを見事にまとめている点が評価されました。

## 優秀賞

「ばくの町みのかも  
はたらくおじさんおばさん」

岐阜県美濃加茂市立古井小学校

二年 大野 佳祐



▲美濃加茂市の四十種類以上の会社や商店で働く人に直接インタビューをし、仕事についていろいろな角度からまとめています。地域の人々と積極的にかかわる姿勢が素晴らしい作品です。

「こおりってふしぎだな」

岐阜県柳津町立柳津小学校

二年 高木 健至



▲氷をつくる・とかす・ものを凍らせるなど、あらゆる角度から氷についての実験を行っており、実験の量の豊富さには驚かされました。また、その結果が分かりやすくまとめられています。

## 佳作

- 「れいぞうこのなかのたからものちず」 (岐阜県各務原市立蘇原第一小一年) 山田 大貴  
→冷蔵庫の中の果物や野菜がどこから来たのかをスーパーマーケットや図書館で調べた作品です。
- 「みずあそび」 (岐阜県柳津町立柳津小一年) 長屋 健治  
→自分の家にあるもので、水に浮くものをいろいろな角度から調べた作品です。
- 「しゃばんだまをつくったよ」 (大阪府城南短期大学附属小一年) 吉原 彩香  
→しゃばんだまにキラメクを溶かし、キラメクの分量によるシャボン玉の大きさを調べた作品です。
- 「国立えき前おみやげさんしらべ」 (東京都東京学芸大学教育学部附属小金井小二年) 臼井 緑  
→家の近くの駅前のどこに何の店があるかを調べ、駅前に多い店についてその理由を考察した作品です。
- 「ベトベトできるかたのじつけん」 (東京都東京学芸大学教育学部附属小金井小二年) 高安 伶奈  
→ベトベトするものをアクリル板にぬって模様を作り、そのちがいを調べた作品です。
- 「家ぞくとわたしの大りや行」 (東京都東京学芸大学教育学部附属小金井小二年) 杉野 有里  
→家族旅行で訪れたところを細かく記録し、感想などを交えて日記風にまとめた作品です。
- 「すず虫日記」 (岐阜県笠松町立笠松小二年) 奥村 牙香  
→たまごから成虫までの観察記録を絵日記の形式でまとめた作品です。
- 「お手つだい日記」 (岐阜県笠松町立笠松小二年) 石原 亜季  
→毎日一つずつお手伝いをし、その手順や失敗談・反省を一日一日しっかりと記録した作品です。
- 「たまごくんのへんしん」 (岐阜県瑞浪市立瑞浪小二年) 河口 尚大  
→新鮮なたまごを古いたまごについて、浮き沈み・ゆで卵になったときのちがいを研究した作品です。

## 優良賞

- 「南のケヤキ北のケヤキ」 (宮城県仙台市立台原小一年) 土屋 匡矢  
→ケヤキの苗を育て、日照の違いでの成長の差を細かく分析し、コンピュータを使ってまとめた作品です。
- 「セミのへんしん」 (東京都東京学芸大学教育学部附属小金井小一年) 井澤 佑斗  
→セミの羽化の決定的瞬間を写真とイラストでいかに記録・観察・考察した作品です。
- 「ミニトマトのかんさつ」 (福島県会津若松市立鶴城小二年) 齋藤 泰成  
→ミニトマトが赤くおいしくなるにはどんな条件が必要かを観察を通して調べた作品です。
- 「日本中の人にインタビュー」 (東京都東京学芸大学教育学部附属小金井小二年) 内藤 愛  
→ほぼ全都道府県の人に会ったり電話をしたりして、言葉や各地の自慢などをインタビューした作品です。
- 「おりより日記」 (岐阜県岐阜市立長良西小二年) 矢島愛莉奈  
→いろいろな料理に挑戦し、作り方から注意点・感想までその体験をしっかりとまとめた作品です。
- 「ありのけんきゆう2」 (岐阜県瑞浪市立瑞浪小二年) 大野 世貴  
→二年越しのアリの研究です。様々な方法で実験・観察し、アリの生態や不思議にせまった作品です。